

## 第4学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)  
授業者 教諭 〇 〇 〇 〇

### 1 主題名 よりよい友達関係「B-(9) 友情, 信頼」

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい

互いに信頼し、ときには注意し合いながら、よりよい友達関係を築こうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

#### (2) 教材名

「大きな絵はがき」(東京書籍 新しいどうとく 4)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編第3学年及び第4学年の「B 主として人との関わりに関すること」の指導事項「(10) 友情, 信頼」 友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うことを受けている。

「友達」とは、家族以外で特に深い関わりを持つ存在であり、「友達関係」とは、共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。また、世代が同じ者同士として、似たような体験や共通の興味や関心を有することから、互いの考え方などを交え、豊かに生きる上での大切な存在として、互いの成長とともにその影響力を拡大させていく。よりよい友達関係を築くには、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、信頼し、助け合い、信頼感や友情を育ていこうとする実践意欲と態度を育むことが大切である。

#### (2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

児童は、幼少期から友達と関わり合いながら成長してきた。友達と仲良く活動するだけでなく、けんかをして仲直りをしながら、友達関係を築いてきている。この時期の児童は、集団との関わりも増え、友達関係も広がってくる。また、気の合う友達同士で仲間をつくり、自分たちの世界で楽しもうとする傾向があり、集団での活動などが盛んになる。しかし、学級の人数が少ない場合は必ずしも気が合う仲間がいるとは限らず、お互いを理解しながら、助け合って集団生活を送ることが大切である。そこで、友達のことを理解したり、友達とのよりよい関係の在り方を考えたり、互いに助け合うことで友達の大切さを実感できるような道徳的実践意欲と態度を育てたい。

#### (3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

本教材は、転校した友人から、料金不足の絵はがきが届いたことで、料金不足を教えるか、お礼だけにするか、主人公が葛藤する話である。広子は、転校した正子から大きな絵はがきが届き喜んだ。しかし、兄は、「同じ失敗を他の友達にはいけないから、正子に料金不足を教えた方がよい」と言った。悩んだ広子が、母に相談したところ、「正子が嫌な気持ちになるからお礼だけにした方がいい」と言った。広子は、正子に返事を書こうとしてどうしたらよいか迷う。迷う中、今までの正子と過ごした日々を思い出し、正子ならきっと料金不足を教えても、嫌な気持ちにならず、分かってくれると信じて、教えることにした。

本時の指導に当たっては、前段では、手紙が届いてうれしい広子の気持ちに共感させてから、広子が迷っている場面を取り上げ、料金不足を教える場合とお礼だけにする場合の思いをそれぞれの立場で考えさせる。どちらの立場も正子のことを思って迷っていることを捉えさせ、友達のためにどうすることがよいのか、多様な考えに触れさせながら自分との関わりで考えさせる。後段では、前段で考えたことを基に、自分ならどうするか理由も考え、多面的・多角的に友達とよい関係をつくるために大切な思いについて考えを深めさせる。また、広子が正子に手紙を書く場面を取り上げ友達を信頼し、友達のためを思うからこそ、正しいことを伝えるという思いに気付かせたい。

4 学習指導過程

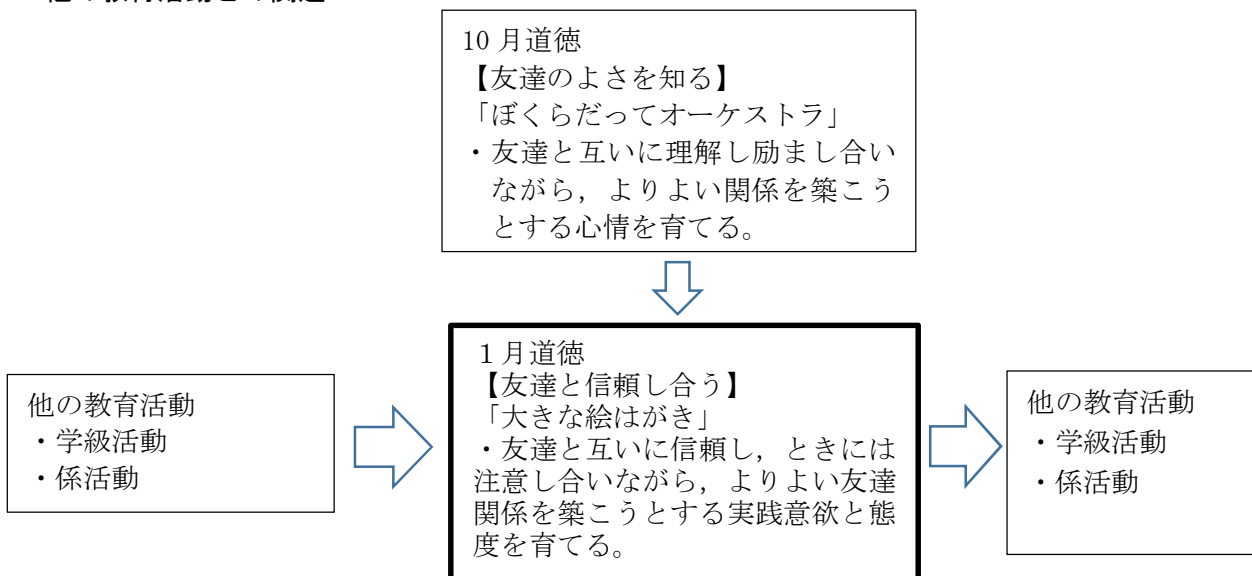
	<p style="text-align: center;">学習活動 (○主な発問 ・予想される児童生徒の反応)</p>	<p style="text-align: center;">指導上の留意点</p>
<p>導入 5分</p>	<p><b>1 本時のねらいとなる道徳的価値について問題意識を持つ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達とは、どのような人ですか。</li> <li>・一緒に遊ぶ。・楽しい人・助け合う</li> <li>・悪口を言わない。</li> <li>○ 楽しく遊ぶ人だけが友達でいいですか。</li> <li>・離れていても友達</li> </ul> <p><b>2 課題をつかむ。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友達とよい関係をつくるために大切なことは何だろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいについて問題意識を持たせるために、友達とはどのような人なのかをこれまでの生活経験から想起させる。その際、一緒に遊ぶだけが友達ではないことに気付かせる。</li> <li>・友達とのよい関係とはどのような関係なのかそのためにどのような思いや考えが大切なのかを考えることを知らせる。</li> </ul>
<p>展開 前段 20分</p>	<p><b>3 教材の内容を把握し、登場人物の心情を捉える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なぜ、広子さんは迷っているのでしょうか。</li> <li>・教えた方がよいのか、教えない方がよいのか分からないから。</li> <li>○ お兄さんは、どうして教えた方がよいと言ったのでしょうか。</li> <li>・お兄さんは、お金を払っているから。</li> <li>・友達だからこそ、正しいことを教えた方がよいから。</li> <li>○ お母さんは、どうしてお礼だけでいいと言ったのでしょうか。</li> <li>・せっかくはがきをくれたのに、間違いを伝えたら、嫌な思いをさせるから。</li> <li>・間違いを指摘したら、嫌われてしまうかもしれないから。</li> <li>○ どちらにも共通している思いや考えは何だろう。</li> <li>・正子のために考えている。</li> <li>・友達だからこそという、広子と正子の友達関係のことを思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の内容を理解させるために、料金不足のはがきとは、どのようなはがきなのか、実物を用意し、説明をしてから範読をする。</li> <li>・料金不足を教えるかどうか迷っている場面を考えさせるために、教材は前半だけを読む。</li> <li>・よりよい友達関係について、多面的・多角的に考えさせるために、兄の考え方、母の考え方のどちらも考えさせる。</li> <li>・なぜ、兄は料金不足を教えた方がよいと言ったのか考えさせる。</li> <li>・お金を払ったという事実だけに偏った場合の問い返しの発問</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金のことだけですか。他にはないですか。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、母はお礼だけにした方がよいと言ったのか考えさせる。</li> <li>・料金不足をことで、相手に嫌な思いをさせないか、自分は嫌われてしまうのではという不安があることだけに偏った場合の問い返し</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いを指摘されたら、友達を嫌いになりますか。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教えた方がよい、お礼だけがよいという表面的なことではなく、その行動の根拠となる思いは、広子と正子の友達関係のことを考えているということに気付かせる。</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開後段 15分</p>	<p><b>4 友達とよい関係をつくるために大切な思いや考えについて話合。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎ あなたが広子の立場だったら、どうしますか。理由も考えましょう。</p> </div> <p><b>お礼だけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いを伝えるのは言いにくいから、お礼だけにしておきたい。</li> <li>・嫌われないとは、言い切れないから。</li> </ul> <p><b>教える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達だったら、間違いを伝えても嫌われることはないから。</li> <li>・きっと、本当の友達なら間違いを受け止めてくれると思うから。</li> <li>・同じ間違いを他の友達にもしてしまうかもしれないから。</li> </ul> <p><b>迷う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教えた方がよいことは、分かるけれど、料金不足でしたとは言いにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄、母、どちらの考え方が自分に近いか考えさせ、ネームプレートを活用し、心情スケールに貼る。</li> <li>・自分ならどうするか理由も考えさせ、全体で話し合い、多様な考えに触れさせる。</li> <li>・深く考えさせるための問い返しの発問</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が正子だったら、どうしてほしいですか。</li> <li>・教えてもらわなかったら、どのように思いますか。</li> <li>・教えてもらったら、どのように思いますか。</li> <li>・今まで、間違っていることを教えたことはありますか。</li> <li>・今まで教えようと迷って教えられなかったことはありますか。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらも、広子と正子の友達関係のことを考えているからこそ悩むのだということを押えさせ、どうすることがよい友達関係を築くために大切なことなのか自分の考えを持たせる。</li> <li>・教材の後半部分を読むことを通して、広子の選択に触れさせる。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">終末 5分</p>	<p><b>5 自己の生き方について考える。</b></p> <p>○ 友達とよい関係をつくるために大切な思いや考えは何でしょう。今までのことを振り返ったり、今日考えたことを付け足したりしながら、ノートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは、なかなか本当のことを言えなかったけれど、相手を信頼して伝えようと思う。</li> <li>・友達にとってどうしたら一番いいのか考えて行動することが大切だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値を自分との関わりで捉えさせるために、振り返りの視点を示す。</li> </ul>

**【評価】**

友達とよい関係をつくるために大切な思いや考えについて、自分との関わりを通して、多面的・多角的に考えようとしていたか。

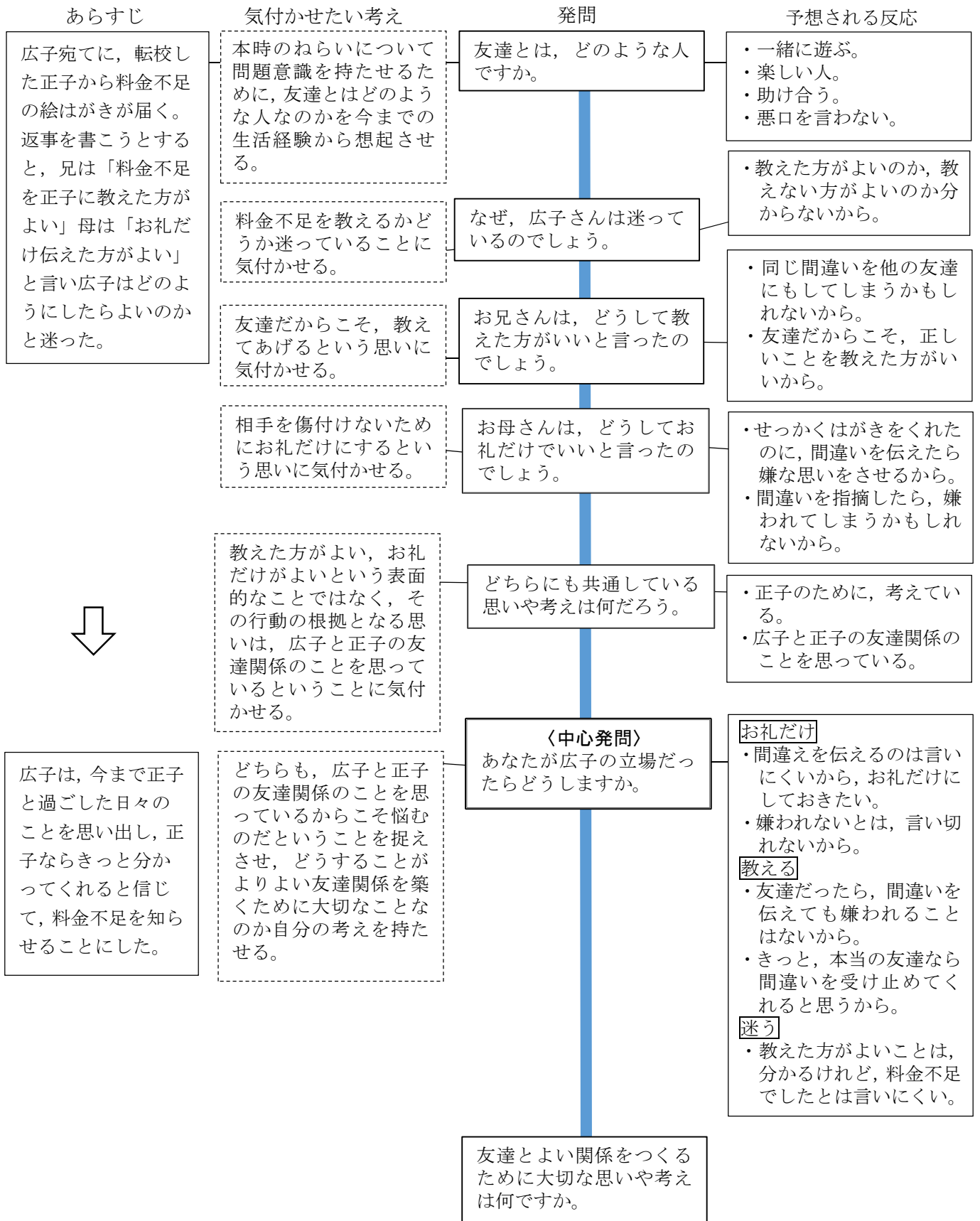
## 5 他の教育活動との関連



## 6 補充・深化・統合の視点【統合】

「友情・信頼」という道徳的価値について、児童はこれまでの生活経験を通して学んできている。本時は、児童の実態を踏まえて、よりよい友達関係とは、楽しいことを共有するだけでなく、ときには、友達のことを考えて、間違いを伝えることも大切だということに気付かせたい。間違いを伝えるという行為には、お互いに信頼していることや、伝える勇気が必要であること、正直であることなど複数の道徳的価値が関連することが考えられる。よって、本時は、それらの道徳的価値を統合し友情、信頼について、捉え直すことができるようにする。

## 7 教材分析・発問構成



## 8 準備物

教師：教科書、場面絵、定形外のはがき

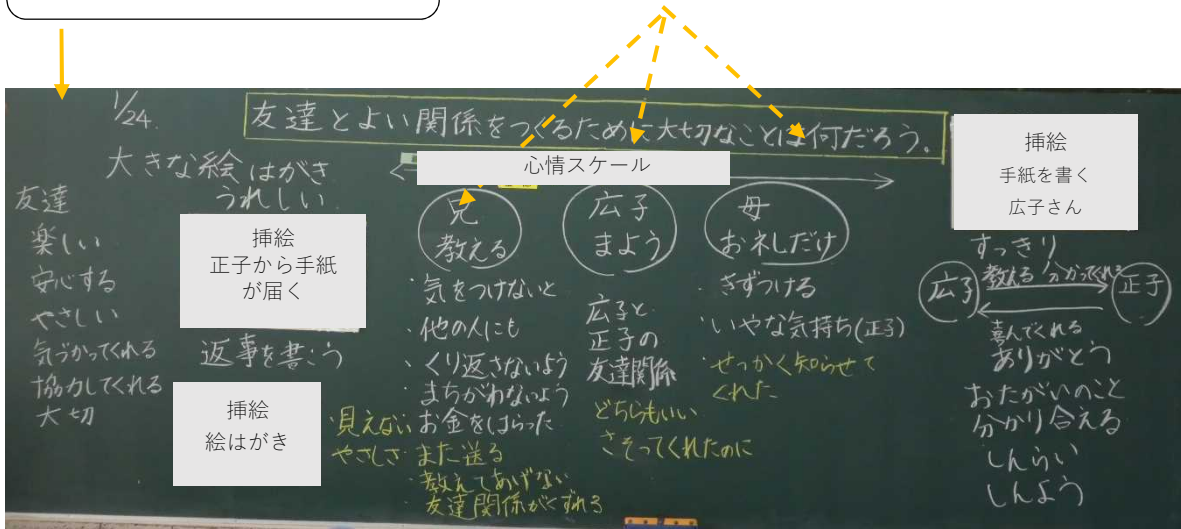
児童：教科書、ノート

9 実践の記録 (○成果, ●課題)

【板書】

ねらいとする道徳的価値に関する問題意識を持たせる。

兄、母、広子の考えが分かるようにし、多面的・多角的に考えたことを示した。



(1) 導入

授業開始時に、ねらいとする道徳的価値に関する児童の考えを公表させた

- 友達とはどういう人か児童の考えを公表させ、離れても友達であることを確かめた。その上で、ずっと一緒に過ごしてきた友達とよい関係を作るために大切なことは何かという本時の課題につなげた。

児童との対話記録

- T 友達ってどのような人ですか。
- C 大切。
- T 一緒にいてどういう人ですか。
- C 楽しい。安心する。優しい。
- T 他にありますか。隣の友達と話してみて。
- C 気づいてくれる。協力してくれる。
- T みんな、転校したお友達がいると言っていたけれど、離れてしまったら友達じゃなくなる？
- C 離れても友達。
- T 今日、友達について考えていくよ。
- T 今日の課題は、「友達とよい関係をつくるために大切なことは何だろう」です。みなさんは、ずっと一緒に過ごしている友達ですね。その友達とよい関係をつくっていくために大切な思いや考えについて、先生とみなさんと一緒に考えていきましょう。

(2) 展開

教材を前半と後半で分割読みをした

- 料金不足を教えるかどうか迷っている場面を考えさせるために、教材は前半だけを読み、問題場面を捉えさせたら教科書を伏せて考えさせた。そうすることで、教材に書かれていない登場人物の発言の根底にある思いを、自分の生活体験に照らし合わせながら考えを公表させることができた。

### 多面的・多角的に考えさせるために、兄と母どちらの立場でも考えさせる

- よりよい友達関係について、多面的・多角的に考えさせるために、兄の考え方、母の考え方のどちらも考えさせることで、どちらも広子と正子のことを思っていることに気付かせ、行為の根底にある思いについて考えさせることができた。話し合う中で、広子を自分に重ねて、考えを話し合う様子がたくさん見られた。

### 自分との関わりで考えさせるために、心情スケールを活用

- 兄、母、どちらの考え方が自分に近いか考えさせ、ネームプレートを活用し、心情スケールに貼ることで、自分はどちらの考えに近いのか、どうして悩むのかということ自分のこととして考えさせることができた。また、理由も考えることで「教える」「お礼だけ」「悩む」の根底にある思いは、それぞれ違うことに気付かせ、多様な考えを引き出すことができた。
- ネームプレートを活用したことで、決めるまでに悩んだり、一度決めた考えを見詰め直したりするなど、思考の流れが見えるようになった。その児童の様子から意図的に指名して、迷っている児童の本音の部分を引き出すことができた。

### (3) 終末

#### 自己を見つめた

- 終末では、課題「友達とよい関係をつくるために大切なことは何だろう」を振り返り、今日の授業を通して、考えたこと、分かったこと、友達の考えでいいなと思ったこと、これからどうしたいかをノートに書かせることで、児童がこの時間にどのようなことを大事に思ったのか見取ることができた。

- ・よい関係をつくるには、相手のことをしっかりと考え、間違っていることや、なやんでいることなどを教えてあげたいと思います。
- ・友達のやさしさや思い、自分の気持ち、思ったことはちゃんと相手に伝わるように、まず考えるのは「相手はどう思っているか」だと思います。今日考えたことを活用して、みんなとたくさん仲良くしたいです。
- ・自分も広子さんのように友達を信らいして、自分の思ったことを書こうと思いました。相手の気持ちを考えて話せばいいと思います。
- ・友達は、信らいできるから、友達と言えらると思いました。不安やなやみ事があっても、友達だからこそ言えらると思いました。友達は、とてもありがたいと思いました。
- ・自分がもし教えてもらったら、もっと仲良くなるなと思いました。広子さんがまようのは、当たり前なことだと思いました。
- ・友達が間ちがっているときは、注意するのが本当のやさしさだと思いました。それに、相手の気持ちを考えながら、注意すると友達とよい関係になれると思いました。
- ・ぼくも、もし間ちがえたことがあつたら教えてほしいし、ぼくが「ありがとう」と言つたら、信らい関係がさらに上がるなと思いました。もし、こんなことが起きたら、みんなで今日話したことを見本にしたいと思います。そして、ぼくの友達の信らい関係も上げたいと思います。